

(2 年担任 高橋 汐音)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																		
PDCA サイクルの計画 全学年共通の計画	R5 校内研究のため 昨年度「算数」決定	R6 来年度の公開に向けて、みんなで作ろう。 4月・5月で準備をきこて ① 実態把握 「日常の授業」「NPT」 ② 校内研究 「めざす子の姿」「めざす授業像」など 共通理解	授業研究① (小石研) ↓ ふり返り 学習成果と課題①	授業研究② (大石研) ↓ ふり返り 成果と課題②	来年度に向けた 校内研究のふり返り ① 変えていくこと こころ、態度、 ② ……取り組む事柄 ③ めざす子の姿達成度 ④ 来年度の授業の姿など	共通理解 イメージ化して R7へ	R7 NPTへ	* 全国学習同士の分析 * マス石確認問題実施 * 到達度テストの実施→分析→補充	* NPTの分析	* 到達度テストの実施→分析→補充	* 到達度テストの実施→分析→補充	* 到達度テストの実施→分析→補充	* 到達度テストの実施→分析→補充																		
PDCA サイクルを機能させるために、自分ができそうなことは・・・ ① どこを ② どのように 具体的な手立てを！	5月時点で、 自学級について分析を ↓ 分析してこと 言葉、数値で表す ↓ つまら、おもしろい、 (年中)	学級の強みは！ ・問題を最後まで読む意欲はあり！！ ・基礎・基本の計算は定着している児童が多い。	学級の課題は・・・ ・数直線と時刻の読み取りが苦手 ・問題場面のイメージがつかめていない児童が多い。(図に表すなど)	課題を解決するための授業改善 ・具体物やブロック操作を通してイメージさせる。 ・数直線に触れる機会を多く取り入れる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>見方・考え方</th> <th>子どもへの表現</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見方</td> <td>～に注目する(2,3,4年) ～に着目する(5,6年)</td> </tr> <tr> <td>単純化</td> <td>かんたんな場合で考える</td> </tr> <tr> <td>一般化</td> <td>いつでもいえるか考える</td> </tr> <tr> <td>簡潔・明確</td> <td>わかりやすく表す</td> </tr> <tr> <td>類推</td> <td>同じように考える</td> </tr> <tr> <td>帰納</td> <td>さまりを見つける</td> </tr> <tr> <td>演绎</td> <td>わかっていることをもとに考える</td> </tr> <tr> <td>統合</td> <td>同じところを見つけてまとめる</td> </tr> <tr> <td>発展</td> <td>広げて考える</td> </tr> <tr> <td>日常生活</td> <td>生活にいかす</td> </tr> </tbody> </table>	見方・考え方	子どもへの表現	見方	～に注目する(2,3,4年) ～に着目する(5,6年)	単純化	かんたんな場合で考える	一般化	いつでもいえるか考える	簡潔・明確	わかりやすく表す	類推	同じように考える	帰納	さまりを見つける	演绎	わかっていることをもとに考える	統合	同じところを見つけてまとめる	発展	広げて考える	日常生活	生活にいかす	課題解決のため授業改善(授業研で提案したいこと・日常の取り組みなど) ・問題場面を、具体物で示すことで、「なるほどね！」というつぶやきが多かった。そこからブロックや図に表して問題解決することができた。 ・めあて～まとめまでしっかりと書く力が付いてきた。まとめを穴埋めにするなど、自分の言葉で書くことも今後していきたい。	取り組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り(8月) 児童が学習に意欲的に取り組むことができた。また、ノートに書く活動を毎時間行っていたために、書くスピードや書き方などが身についていた。しかし、授業内容をすべてノートに書くだけでなく、あとから振り返ってもわかるノート作りが必要。 具体物を使って、数の量感を意識させることが大事。カードだけでなく、お金や実生活に繋がるものにたくさん触れさせたい。	取り組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り(12月) 主にかけ算の学習だったが、意欲的に取り組むことができた。「同じように考える(類推)」の見方・考え方をを使って、かけ算の答えを導くことができ、九九のきまりを見つけて活用しようとする姿が見られた。立式の際に、かける数とかけられる数が逆になってしまう児童が見られたので、ブロック等を使って問題場면을示し、かけられる数のまとまりを考えさせていく。	取り組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り(年間反省) かけ算の学習では、「同じように考える」という見方・考え方が児童にも浸透していた。 自分の考えを、自分の言葉で話すのが苦手な児童が多く、考えの共有がうまくできなかった。国語科とも連携しながら、話す活動を多く取り入れ、自分の考えをもっと発信できるようにしたい。
見方・考え方	子どもへの表現																														
見方	～に注目する(2,3,4年) ～に着目する(5,6年)																														
単純化	かんたんな場合で考える																														
一般化	いつでもいえるか考える																														
簡潔・明確	わかりやすく表す																														
類推	同じように考える																														
帰納	さまりを見つける																														
演绎	わかっていることをもとに考える																														
統合	同じところを見つけてまとめる																														
発展	広げて考える																														
日常生活	生活にいかす																														